養南新聞

発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

午後の診療枠拡大へ

◆混雑の解消へ

平成26年4月から午後診療の枠が大幅に増えることが運営委員会より発表された。

現在、曜日によっては5人の医師が午前中に同時に外来診療をしているため待合室が非常に混雑することが問題視されてきた。今回午後の外来診療時間を設けることでこれを解消しようという狙いだ。

現在の金曜、日曜だけでなく原則すべての曜日において午後2時から4時まで診察が受けられる予定。

当面は予約制で再診のみとなりそうだが、いずれは初診を受け付けることも視野に入れているようだ。仕事などで午前中は抜けにくいと言った患者さんにとっては朗報だ。

病院関係者は「待合室の混雑もそうだが、待ち時間の大幅短縮も見込めるのでは」と期待をこめる。

外来待合室
多いときには椅子が足りなくなることも

◆新処方システム稼働

世間を騒がせているウィンドウズXP(Windows XP)のサポート終了を受け、処方システムが一新された。現時点では、操作に慣れず、各方面にご迷惑をおかけしていることもあるらしいが、高橋総務部長は「20年 マイクロソフトに踊らされ」と苦々しい表情で心情を詠った。

食へのこだわり

「味噌汁」

赤、白、合わせ味噌が日替わりで提供されるこのお袋の味には定評がある。

「朝ごはんを抜く人が増えている昨今、何とか食べてもらおうと工夫してます。やっぱり食べないと力が出ないですもんね。」と語るのは栄養課課長の丸山一代さん(年齢非公表)。さながら養南病院のお袋さんですね。

「・・・だからそんな年じゃないってば」失礼しました。

見た目は悪いが味は良い

病院探険隊

「オレンジハイツ」

今回の案内役は施設長の山本薫さん(65)。

「ここは平成18年に建てられたグループホーム・ケアホーム一体型施設で、利用者の自立に向けて日々頑張っとりますわ。」

施設長のモットーをお聞かせください。

「わしゃ昼間っからゴロゴロしとっては、いつまでたっても自立なんか出来やせんと思っとる。デイケアや作業所でのリハビリをどんどん勧めとりますわ。」

なるほど。他には。

「地域との交流のため、地元の清掃活動なんかにもみんなで参加しとりますわ。」

エネルギーの有り余っている施設長でした。

ところで施設名は隣のみかん畑と柿畑に由来するということで、ひねりも何もないですね。

「そんなことわしゃ知りませんわ。」

次回は、当直室へ潜入。

イメージカラーはもちろんオレンジ

楽山・杜のたまご

◆ゆるキャラ総選挙候補作品出揃う！

地域に根ざした病院を目指し、より親しみや関心をもってもらおうということで始まった病院マスコットキャラクター選定人気投票、通称「ゆるキャラ総選挙」。ついに最終選考に残った6作品が公表された。

応募総数46作品の中から実行委員会により厳選されたいずれ劣らぬ6作品。投票は3月いっぱい、外来に備え付けてある投票箱から誰でも可能。グランプリに選ばれた作品は着ぐるみとなり8月の夏祭りに登場する予定だ。

※詳しくはホームページで

この笑顔でやっとりますわ

タイムマシンに乗って

「悠遊開設」

平成7年、患者さんの早期社会復帰に向けてそれは建てられた。精神科デイケアとしては県内初だ。

「悠遊」とは「豊かな自然の中で安らぎの心を」との趣旨で先代理事長が命名したとのこと。

当時は何かと言えばテレホンカード

右はその完成を記念して配られたテレホンカードに使われた写真だ。現在2度の増築工事を重ね広いスペースを確保しているが当時はこれで十分事足りた。

医療技術部長の橋田勝美さん(69)は「当時は少ないスタッフ、少ないメンバーで和気あいあいとやっていた。今でも当時のメンバーからその時の思い出話を耳にします」と懐かしむ。

「極めてレアなこのテレホンカードだがプレミアは全くついていない。」

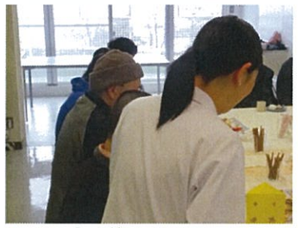
雪を見ながら雪見だいふく

2月8日(土)全国的な大雪の中「宮嶋先生とティータイム」が催された。

今回作ったのは求肥(ぎゅうひ)を使った「雪見だいふく」。思った以上の出来栄えに上機嫌の宮嶋先生。メンバーさんと今年の抱負などを語りつつ午後のひと時をすごした。

毎月恒例となっている「宮嶋先生と～」企画は、例外なく食べもの絡み。先生からの強いリクエストがあるようだ。おまけにおやつが出来上がった頃を見計らって登場するしたたかさ。

「甘いものは別腹だもん。」否、別腹ではない。



3月は「たこ焼きパーティー」です♪

デイケアセンター悠遊～四季折々～

SSTで危機回避

今回紹介してくれるのはSMAP担当係長の平田亮男さん(29)。そもそもSSTとは?

「日本語で生活技能訓練のこと。職場での様々な場面での対処技能を獲得しようというプログラムです。」

なるほど。具体的にはどのように?

「毎回テーマを取り上げ、ロールプレイ、つまり実際に演じてみて、皆で検証しています。例えば残業をどうやって断るかとか。」

使えそうですね。今日はもう帰っていいですか?

「残業を楽しむ方法を考えてみては。」

・・・発想の転換も大切ということですね。

オレンジの似合う係長

◆感染委員会

2月15日、「インフルエンザについて」と題した勉強会が行われた。講師の神崎順次係長(西病棟)は、インフルエンザの基本的な知識や当院がするべき対応について解説。最後に「プロとして自らが媒介者とならない意識が重要だ」と強調した。事務課の船橋菜月さん(21)は「私たちも受付で感染を拡げる元にならないよう気を付けないと。」と話した。

私が罹った時は有給使って媒介を防ぎました。

◆家族教室のお知らせ

テーマ:「統合失調症のリハビリと社会復帰」
講師:宮嶋佳苗医師
開催日時:3月9日(日)14時～16時
参加費:無料

※当院リハビリ担当医が、統合失調症という病気について、そして回復に必要なリハビリについて分かりやすく解説。

羅笑門

今月は西病棟所属の野田美咲さん(23)その容姿はまるで、ララァ・スンを彷彿とさせる。私もシャア・アズナブルとして、インタビューを試みた。

シ 少尉、戦い(勤務)は楽しいかな?

ラ 少尉ってなんですか?

シ ーガンダムの世界を説明ー(この間10分)

ラ 楽しいです。嫌と思ったことありません。(設定を受け入れた)

シ "ララァは賢いな!"

趣味は持っているのかな

ラ アニソンと買い物です。

キレイな小物も好きです。

シ "キレイなものが嫌いな人がいて?"ってことだな・・

ラ は・・はい・・

シ フラナガン機関にいた頃とは違い、軽音部・旅行部に入るなどワイドな活躍だな。最後に今年の抱負を話してもらおうか。

ラ 今後は師匠がいなくても、しっかり働けるようになりたいです。

シ やはり人類はニュータイプへの覚醒が必要ということだ。

ラ まあそういうことで良いです・・(設定に飽きている)

シ ララァよ私を導いてくれ!

ラ ・・・・・・

リハビリの小窓

「エクササイズ」

入院中の体力維持やリラクゼーションを目的に行われるこのプログラム。生活リズムの改善にも一役買っている。

作業療法士の佐々木ゆかりさん(47)は一昔前のユーロビートと80年代のリズムをバックに本職のインストラクター顔負けの動きを見せる。「昔通ったマハラジャを思い出します。」と言う佐々木さん。終了後の会場は熱気に包まれ換気が必要なほど。そのパワフルさはインストラクターと言うよりトラクターだと巷では囁かれている。

「レオタード着たいわ」と周囲の迷惑を顧みない発言も

ご意見箱より

カラオケルームを作ってください。楽しい入院生活が送れると思います。

専用の部屋で美声を響かせたいお気持ちは重々わかるのですが、定期的に行われている病棟カラオケにご参加ください。

◆こちら診療部長室

「不眠①」

睡眠時間は人それぞれ。日中の眠気で困らなければ十分。

世の中には睡眠時間の長い人もいれば、短い人もいます。今は暇になった某テレビキャスターは睡眠時間が短いことで有名でした。また季節でも変化しますし、年をとると必要な睡眠時間は短くなります。

「8時間眠らなければいけない!」という拘りが不眠症をかえって悪化させている場合もあるようです。日本人の平均睡眠時間は6・6時間です。「睡眠時間は短くとも、日中の眠気がなければ良いのだ」と気楽に考えましょう。(診療部長 宮原陽一)

宮原先生

Stress Care Center
ストレスケアセンター
ようなん
ゆったり快適な病室は全室個室
一般個室1000円/日
トイレ付個室3000円/日
ユニットバス付個室5000円/日